



みどりが丘小だより

9月号令和8年9月1日発行
小川町立みどりが丘小学校

「自走する力」

校長 船田真由美

2学期が始まりました。酷暑の夏を乗り越え、元気な子供たちが笑顔で登校してくれてきたことを、大変嬉しく思っております。夏季休業中、ご家庭や地域で温かく子供たちを見守り、育んでくださり、ありがとうございました。今学期も安心・安全を第一に、一人一人の成長を全職員で支えてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

今年の夏は、熊本や千葉を襲った災害のニュースに胸が痛みました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。そのような困難な状況の中、甲子園に初出場した熊本代表・有明高校の活躍が、ニュースや新聞などでも大きく取り上げられ、大変話題になっていました。**ピンチにあっても諦めず、自分たちの力で未来を切り拓こうとする彼らの姿**は、これからの不確実な時代を生き抜く子供たちに、私たちが最も大切に育てていきたい**「しなやかな心の強さ」**そのものでした。

彼らは**「自走」**していました。そして、この「自走」という言葉は、私がこの夏に参加したいいくつかの研修の場でも、耳にした言葉です。本校でもこれまで「主体的、対話的で深い学び」に向けて教育活動を進めてまいりましたが、さらにその一歩先として、**自分で問いを立て、判断し、主体的に行動を起こす「自走する力(=自分自身のエンジンで動き出す力)」**が注目されています。

この「自走の力」について、先日、ある大学教員が書いた記事を読んで、少しハッとさせられました。「最近の学生は、出席率も高く指示通りにきれいにノートを取る、とても真面目な子が多い。でも、『自分で研究テーマを決めてごらん』と言うと、途端に戸惑って動けなくなってしまう学生が少なくない」という内容でした。一見、素直に課題をこなす学生であっても、誰かが用意したレールを走ることに慣れすぎてしまうと、自分で人生のハンドルを握る場面で戸惑ってしまうのかもしれません。

私自身を振り返ると、ついつい子供が心配で、先回りして手を貸したくなったり、失敗しないように準備してあげたくなったりすることがあります。確かに大人が指示を出した方が、スムーズにいくことも多いものです。けれど、**子供たちが自分で考えて決める(自己決定する)チャンス**を、ほんの少しだけ**「待ってみる。見守ってみる。」**ことも、**これからの時代にはとても大切なのかもしれません。**

国の次期学習指導要領改訂(※学校教育のガイドラインの改訂)に向けた「論点整理」でも、まさにこの**「自分で決めて動かす学び」**が重視されています。家庭学習を自分で計画することや子供主体の行事づくりなど、主体性を育む学びの重要性がまとめられています。

では、子供たちが**「自走できるようになるために」**私たち大人にできることは何でしょうか。以前もここで触れましたが、やはり、そのコツは、「ついつい出そうになる手を、少しでも引っ込めて見守ること」、そして**「決定を子供自身に任せてみること」**だと思います。例えば、家庭での宿題。「今日はどの順番で、何時からやる。」と子供に計画を任せてみる。「これどうして?」と聞かれたら、すぐに答えを教えるのではなく、「どうしてだと思う。一緒に調べてみようか。」と、子供の「なぜ?」と一緒に楽しんでみる。**ルールや約束の中で、自分で決めて行動させてみる。**たとえ失敗したとしても、それは「起き上がり方を学ぶための大切な練習」です。ハードルを乗り越えようとする、あるいは転んで起き上がろうとする子供の力を信じて見守る。この**「失敗しても大丈夫」という安心感こそが、子供たちの「自走エンジン」を回す最大のエネルギーになるのだ**と思います。

本年度、本校では、「学級会」や「各教科の学習」で【話し合うこと】に力を入れています。自分たちの生活をよりよくするため、また、自分たちの力でよりよい学校を創るための時間や活動を大切にしています。2学期は「ふれあい集会」「運動会」「社会科見学等の校外学習」などの行事が目白押しです。これらの機会を通して、自分で問い、判断し、主体的にチャレンジしていく力を伸ばしていきたいと思っています。



笑顔であいさつしよう



学生時代はサッカー一筋、誠実さとたくましさをあわせ持つ頼もしい 担任。そして、穏やかな佇まいのなかに、ソフトボールで鍛えた「強い芯」を秘めた 担任。今月は、本校に爽やかなエネルギーを届けてくれる二人に、【み小の子供たちのよさ】と【子供と向き合う時に大切にしていること】を聞いてみました。

教諭

- ・み小の子供たちのよさは「友達を思いやる気持ち」と「何事にも一生懸命に取り組む姿」です。
- ・私が大切にしていることは、「子供たちには自分らしく過ごしてほしいので、私もありのままの自分で子供たちとまっすぐに向き合うこと」です。

教諭

- ・み小の子供たちのよさは「キラキラとした笑顔で気持ちのよいあいさつができること」です。
- ・私が大切にしていることは、「常に笑顔を忘れずに、目線を合わせてコミュニケーションをとること」です。

2学期の主な行事

9月	1日(火)	2学期始業式
	2日(水)	避難訓練/引き渡し訓練
	3日(木)	給食開始/夏休み作品展(4日まで)
	19日(土)	ふれあい集会
	29日(火)・30日(水)	修学旅行【6年生】
10月	1日(木)	ふれあいデー*全校5時間14:50下校
	2日(金)	振替休業日【9/19分】
	9日(金)	R9 就学時検診 *全校4時間13:00下校
	16日(金)	学校指導訪問*全校5時間14:50下校
	24日(土)	運動会
	26日(月)	振替休日【10/24分】
11月	4日(水)	人権教育講演会*保護者対象 *全校5時間14:50下校
	7日(土)	資源回収
	8日(日)	資源回収予備日
	12日(木)	おがわ学フォーラム *学校公開3・4時間目
	26日(木)	校内持久走大会
12月	1日(火)	個人面談開始【12/8(火)まで】
	22日(火)	給食最終日
	23日(水)	3時間授業/地区別下校
	24日(木)	2学期終業式

夏休み親子ふれあい作業

8月22日(土)、多くの保護者や地域の皆様にお集まりいただき、子供たちも一緒に作業を行いました。

トイレ掃除など、普段子供たちの手では行き届かない場所もピカピカになりました。本校自慢の広い校庭の草取りや草刈りは大仕事ですが、自前の刈払機をご持参くださった方々による草刈りや、フィールド内の地道な草取りのおかげで、見違えるほどすっきりと美しくなりました。

皆様の温かいご協力とご支援に、心から感謝申し上げます。清々しい環境で、気持ちよく2学期をスタートしました。

令和8年度運動会

本年度は10月24日(土)に運動会を実施します。地域の皆様には個別のご案内状は送付しませんが、ぜひご来校いただき、子供たちに温かいご声援をいただけると幸いです。

*詳細については、次号の学校だよりにてご連絡いたします。

ふれあい推進委員会～学校と地域をつなぐ「20年の歩み」～

本校には、「ふれあい推進委員会」という組織があります。平成17年に埼玉県教育委員会の委嘱を受け、学校地域連携事業(学校と地域を結ぶこと)として発足された組織です。実は、現在の「学校応援団」という素晴らしい仕組みを最初に手掛け、整えてくださったのがこの委員会でした。

現在まで20年近く、環境整備や読み聞かせ、登下校の見守り、学習支援等で子供たちのためにご尽力くださいました。みなさんもお存知と思いますが、昨年度まで毎月10日前後に実施していた「ふれあい作業(校庭や花壇等の整備)」は、ふれあい推進委員の方々が中心となって進めてくださる活動でした。今もなお、学校が地域の皆様からたくさんのご協力をいただきながら、様々な教育活動を行えるのは、他ならぬ同委員会の皆様のおかげにほかなりません。

みどりが丘小学校はあと2年半で統合を迎えます。そこで、ふれあい推進委員会の活動と想いを学校が引き継ぎ、持続可能な体制へと再編いたします。昨年度末に行った「学校応援団」の募集では、のべ50名もの方々のご登録をいただきました。みどりが丘小の子供たちを我が子のように大切に思い、寄り添ってくださる方々の存在は、大きな支えとなります。この温かい繋がりをご家庭や地域の皆様と共に、これからも大切にしていきたいと思っております。